

安全データシート

1907/2006/EC(REACH), 1272/2008/EC(GLP), OSHA GHS対応

印刷日:9/30/2015

改訂日:9/30/2015

1. 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1 製品識別名

製品名: RED EPOXY KIT(RED PART)

製品コード: 12001

1.2 物質/混合物の特定使用方法または推奨しない使用方法

関連情報はなし

物質/混合物の用途: エポキシ樹脂

1.3 SDS発行会社詳細

製造者、供給者: Highside Chemicals Inc.

11114 Reichold Road, Gulfport, MS 39503 USA

電話番号: +1(228)896-9220

会社名: 株式会社ユニテック

住所: 大阪市西区立売堀3丁目5-12

電話番号: 06-6535-7730 FAX番号: 06-6535-7740

1.4 緊急連絡先:

ChemTel Inc.

+1(800)255-3924, +1(813)248-0585

2. 危険有害性情報

2.1 物質/混合物の分類 (EC)No.1272/2008規制に沿った分類

下記の有害情報はEU規制にのみ準拠し、アメリカのGHS規制には準拠しない:H411



水生慢性2 H411

水生生物に対して長期継続的に影響する毒性がある



皮膚炎症2 H315

皮膚炎症が起きる

目の炎症2 H319

重篤な目の炎症が起きる

皮膚感作1 H317

皮膚にアレルギー反応が起きる可能性がある

追加情報: 他に確認分類されている有害性はない。混合物には、不明の毒性物質は含まれていない。

2.2 ラベル要素 (EC)No.1272/2008規制に準拠し表示

物質は、アメリカ国内の世界調和システム(GHS)に沿って分類、表示されている。

製品は、CLP規制に沿って分類、表示されている。

危険有害性絵表示

下記の絵表示は、ヨーロッパ内のみで使用される:GHS09



GHS07 GHS09

注意喚起語: 警告

表示の有害性決定物質: 反応生成物:ビスフェノールA(エピクロロヒドリン)エポキシ樹脂
(平均分子量数≤700)

危険有害性情報 下記の危険有害性情報は、EU規制にのみ準拠し、アメリカのGHS規制には準拠しない:H411

- H315 皮膚炎症が起きる
H319 重篤な目の炎症が起きる
H317 皮膚にアレルギー反応が起きる可能性がある
H411 水生生物に対して長期継続的に影響する毒性がある

注意書き

- P101 医師の診断が必要な時は、製品の容器またはラベルを持っていくこと
P102 子どもから遠ざけること
P103 使用前にラベルを読むこと
P261 ほこり、煙、ガス、霧、蒸気、噴霧した吸わないようにすること
P264 使用後は、しっかり手を洗うこと
P280 保護手袋や目を保護するものを着用すること
P305+P351+P338 目に入ったら：数分間、注意しながら水で洗うこと。コンタクトを付けているなら、コンタクトを外したほうがやりやすい。洗い続けること。
P302+P352 皮膚に触れたら：十分な水と石鹸で洗うこと
P333+P313 皮膚が炎症したり、発疹が起きたら：病院に行くこと
P337+P313 目の炎症が続くなら：病院に行くこと

追加情報： エポキシ成分を含んでいるので、アレルギー反応が起きる可能性がある

NFPA等級(0～4)



HMIS等級(0～4)



2.3 その他危険有害性

PBTとvPvB評価結果

PBT：該当せず

vPvB：該当せず

3. 組成/成分情報

3.1 混合物 詳細：非有害性添加物が加わった下記に示された物質の混合物

危険物質：

CAS: 25068-38-6 NLP: 500-033-5 表示番号: 603-074-00-8	反応生成物:ビスフェノールA(エピクロロヒドリン)エポキシ樹脂 (平均分子量数≤700) 水生慢性2, H411 皮膚炎症2, H315; 目の炎症2, H319; 皮膚感作1, 7	50～100%
---	--	---------

追加情報： 表記されている成分の実体や正確な含有量は、企業秘密のため公表しない。
表記されている危険有害性情報の用語については、16項を参照すること。

4. 応急措置

4.1 応急措置の詳細

- 一般情報： 中毒症状は、数時間後に発症することもあるので、事故後、最低48時間は医師の観察下にいること。
- 吸い込んだ場合： 新鮮な空気を与えること。症状が出た場合は、医師に相談すること。
被害者が無意識の場合は、搬送できるように被害者を安定した場所に置くこと。
- 皮膚に接触した場合： すぐに水と石鹸で洗い、完全に洗い流すこと。皮膚炎症が続くなら、病院に行くこと。
- 目に接触した場合： コンタクトレンズを付けていたら取り、目を開けて数分間流水で洗い流す。

飲み込んだ場合： 症状が治まらない場合は、病院に行くこと。
口内をすすぎ、水をたくさん飲むこと。吐かないようにすること。
すぐに医療要請すること。

4.2 急性・遅延性の重要な症状や影響

アレルギー反応、胃の疾患、腸管疾患、めまい、呼吸困難
危険有害性 肺水腫の危険性

4.3 必要な緊急医療処置や特別処置の表示

飲み込んだ場合、活性炭で胃洗浄すること
皮膚や粘膜には、抗ヒスタミン剤やコルチコイド調剤で処置すること
肺に炎症が起きた場合、吸入コルチコステロイド剤で初期治療をすること
必要なら、酸素呼吸措置をすること

5. 火災時の措置

5.1 消火媒体

適切な消火手段：周囲環境に適した消火方法を使用すること
安全上の理由にもとづく不適切な消火方法：なし

5.2 物質/混合物から生じる特殊な有害危険性

熱された場合や火災になった場合、有毒ガスが発生する可能性がある

5.3 消防士への助言

保護服： 自給式呼吸器保護具を装着すること。全身保護服を着用すること。
追加情報： 関連する追加情報はなし

6. 偶発的放出時の措置

6.1 個人への注意事項、保護設備、緊急時の手順 必ず適切に換気すること

6.2 環境に関する注意事項： 本製品が下水、地表水、地下水に進入しないようにすること
本製品が下水道やいかなる水路にも進入しないようにすること
本製品が水路や下水道に漏出した場合は、関連機関に連絡すること

6.3 密閉/掃除の方法と器具： 液体を凝固させる物で吸収する（砂、珪藻岩、酸結合剤、万能結合剤、
おがくず）。必ず適切に換気すること

6.4 参照すべき他の項目： 安全な取扱方法については項目7を参照のこと
個人保護具については項目8を参照のこと
廃棄方法については項目13を参照のこと

7. 取扱いおよび保管

7.1 安全に取扱うための注意事項： 作業場を必ず適切に換気/排気すること
エアロゾルが発生しないようにすること
火災と暴露保護に関する情報： 特別な方法は必要無し

7.2 不適合品を含め、安全に保管するための条件

保管：

保管倉庫と容器の条件： 涼しい場所で保管すること
非常に熱い物、発火源、直火の近くで保管しないこと
湿気や水から保護すること

1つの共有保管設備での保管に関する情報： 食品から遠ざけて保管すること
酸化物や酸性物質と一緒に保管しないこと

保管条件に関するその他の情報： しっかりと密閉された容器に入れて、涼しく乾燥した場所で保管する
こと。十分換気された場所で容器を保管すること。容器をしっかりと
密閉すること

7.3 特殊な最終用途 関連する情報は無し

8. 暴露管理/保護措置

技術設備設計に関する追加情報: 追加データ無し。項目7を参照のこと。

8.1 管理パラメーター

作業場での監視が必要な制限値がある成分: 本製品は、作業場で監視しなければならない臨界値のある材質を含んでいない。

DNFLs これ以上の関連情報は無し

PNECs これ以上の関連情報は無し

8.2 暴露管理

個人保護服: 一般的な保護/衛生方法: 食品、飲料、飼料から遠ざけること

汚れたり汚染された衣服はすぐに除去すること

休憩前と作業後は、手を洗うこと

目や皮膚に接触しないようにすること

気体、煙、エアロゾルを吸い込まないこと

呼吸器官保護:

換気が不十分な場合、適切な呼吸器保護具を使用すること

エアロゾルや霧が発生した場合、適切な呼吸器保護具を使用すること

手の保護:



本製品がこぼれた場合、呼吸器保護具の使用を推奨する

保護手袋

手袋の材質は、不浸透性で、本製品/物質/調剤に耐久性があるものでなければいけない。

手袋の材質: ネオプレン手袋

目の保護:



安全メガネ

体保護:

保護作業服

環境に対する暴露限界と暴露管理:

関連情報無し

危機管理方法:

詳細については、項目7を参照すること。
それ以上の関連情報は無し。

9. 物理的および化学的性質

9.1 基本の物理的および化学的性質

概要

外観:

形: 粘性

色: 赤

臭い: 無臭

臭気限界: 不明

pH値: 不明

状態変化

融点/融点範囲: 不明

沸点/沸点範囲: 不明

発火点: 249°C(480°F)

可燃性(固体、気体): 非該当

自然/自己発火温度: 不明

生成分解温度: 不明

自己発火: 本製品は自己発火しない

爆発の危険性: 製品には、爆発危険性は無い

爆発下限: 不明

爆発上限: 不明

蒸気圧: 不明

20°C(68°F)での密度: 1.17g/cm³ (9.764 lbs/gal)

相対的密度: 不明

蒸気密度: 不明

蒸発率: 不明

水溶解性/水混和性: 混和しないまたは混和しにくい
分配係数(n-オクタノール/水): 不明
動粘性係数: 不明

9.2 その他情報: その他の関連情報は無し

10. 安定性および反応性

- | | |
|---------------|--|
| 10.1 反応性 | その他の関連情報は無し |
| 10.2 化学的安定性 | 熱分解/避けるべき条件: 仕様に沿って使用し保管すれば分解しない |
| 10.3 有害反応の可能性 | 強い酸化剤に反応する、強酸に反応する、強アルカリに反応する
分解点以上に熱されると、有毒ガスが発生する可能性がある |
| 10.4 避けるべき状況 | 熱や直射日光から遠ざけること |
| 10.5 不適合材質: | 関連情報無し |
| 10.6 有害分解生成物: | 一酸化炭素と二酸化炭素、炭化水素、アルデヒド、有毒な熱分解生成物を発生させる危険性があるもの |

11. 毒物情報

11.1 有毒な影響に関する情報

- 急性毒性: 分類のための関連LD/LC50値: 無し
一次刺激物の影響: 皮膚炎症を起こす可能性がある
重篤な目の損傷/炎症: 重篤な目の炎症を起こす可能性がある
呼吸器感作/皮膚感作: 皮膚にアレルギー反応が起きる可能性がある
反復投与毒性: 反復暴露は皮膚感作および呼吸器感作をもたらす恐れがある
- CMR(発癌性、変異原性、生殖毒性)の影響:
生殖細胞変異原性: 入手済みデータにもとづくと、分類基準に一致しない
発癌性: 入手済みデータにもとづくと、分類基準に一致しない
生殖毒性: 入手済みデータにもとづくと、分類基準に一致しない
STOT-単一暴露: 入手済みデータにもとづくと、分類基準に一致しない
STOT-反復暴露: 入手済みデータにもとづくと、分類基準に一致しない
呼吸器有害危険性: 入手済みデータにもとづくと、分類基準に一致しない

12. 環境影響情報

- | | | |
|-------------------|-------|---|
| 12.1 毒性 | 水生毒性: | 水生生物に毒性あり |
| 12.2 持続性と劣化性 | | 関連情報無し |
| 12.3 生体内蓄積可能性 | | 関連情報無し |
| 12.4 土壌内移動性 | | 関連情報無し |
| 生体毒性の影響: | 特記事項: | 魚に対し毒性あり |
| その他の環境情報: | 一般事項: | 本製品の機械的作用(例: 結合)により破損する可能性がある
本報告書は、類似した構造や組成を持つ製品から推測したものである。入手した脱理性/分解、生体蓄積に関するデータにもとづくと、環境に対して長期的な被害をもたらす可能性を除外できなかった。本製品が地下水、水路、下水道に進入させてはいけない。たとえ少量であっても、本製品が地中に漏れた場合、飲料水に危険が及ぶ。水中の魚やプランクトンにとって有毒である。 |
| 12.5 PBT、vPvB評価結果 | PBT: | 該当せず |
| | vPvB: | 該当せず |
| 12.6 その他の悪影響 | | 関連情報無し |

13. 廃棄上の注意

- | | | |
|-----------|----|--|
| 13.1 廃棄方法 | 推奨 | 家庭用ごみと一緒に捨ててはいけない。本製品が下水道に流れないようにすること。 |
| 不清潔な梱包: | 推奨 | 規制に従って廃棄しなければいけない。 |

14. 輸送上の注意

14.1 UN番号	DOT, ADR, IATA IMDG	規制無し UN3082
14.2 UN正式輸送名称	DOT, ADR, IATA IMDG	規制無し 環境有害危険物質、液体、N.O.S.(ビスフェ ノール A エポキシ樹脂)、海洋汚染
14.3 輸送危険性等級	DOT, ADR, IATA IMDG 	等級 等級 表示 規制無し 9 種雑多な危険性物質や製品 9
14.4 梱包グループ	DOT, ADR, IATA IMDG	規制無し III
14.5 環境有害危険性	海洋汚染:	シンボル(魚と木)
14.6 使用者に対する特別注意		該当せず
14.7 添付IIのMarpolとIBCコードに適応したバルク輸送 輸送/追加情報:	EMS番号: ADR	F-A, S-F 該当せず SP375によると規制無し
	IMDG 限定量(LQ)	5L
	IATA DOT	A197特別バージョンでは規制無し 171.4(2)によると規制無し

15. 適用法令

15.1 物質/混合物に特化した安全、健康、環境規制または法規

アメリカ(USA SARA

355項(極めて有害な物質): 表記されてる成分は無し

313項(特定の毒性薬品一覧): 表記されてる成分は無し

TSCA(毒性物質規制法): すべての成分が表記されている

65案(カリフォルニア州)

がんの原因とされている薬品:

表記されてる成分は無し

女性に生殖毒性をもたらすとされている薬品:

表記されてる成分は無し

男性に生殖毒性をもたらすとされている薬品:

表記されてる成分は無し

発達毒性をもたらすとされている薬品:

表記されてる成分は無し

発癌性区分

EPA(環境保護庁):

表記されてる成分は無し

IARC(国際がん研究機関):

85-83-6 1-(2-メチル-4-(2-メチルフェニルアゾ)フェニルアゾ)
-2-ナフトール 3

TLV(ACGHが定めた限界値):

表記されてる成分は無し

NIOSH-Ca(職業安全・健康学会): 表記されてる成分は無し

カナダ

カナダ国内物質リスト(DSL):

すべての成分が表記されている

カナダ成分公開リスト(限界0.1%):

表記されてる成分は無し

カナダ成分公開リスト(限界1%):

表記されてる成分は無し

212/18/EU指令

危険物質と命名された物-添付I: 表記されてる成分は無し

下段条件200tの用途に対して量(トン)を限定する

上段条件500tの用途に対して量(トン)を限定する

その他の規制、制限や禁止規制

REACH 57条の高懸念物質:

表記されてる成分は無し

15.2 薬品安全評価:

薬品安全評価は実施されていない

16. その他の情報

この文書は、弊社の現在の知識にもとづいているが、どの製品の特別特性を保証するものではなく、また法的実行力を持つ契約関係を築くものでもない。

関連文言	H315	皮膚炎症が起きる
	H319	重篤な目の炎症が起きる
	H317	皮膚にアレルギー反応が起きる可能性がある
	H411	水生生物に対して長期継続的に影響する毒性がある

出典 SDS作成者: Chem Tel Inc. 1305 North Florida Avenue, Tampa, Florida,
USA 33602-2902
TEL: +01 813-248-0573
ウェブサイト: www.chemtelinc.com

注)この化学物質等安全データシートは英語からの翻訳であり、万が一訳し間違い等があった場合は、原文を正しいものとみ無します。

安全データシート

1907/2006/EC(REACH), 1272/2008/EC(GLP), OSHA GHS対応

印刷日:9/30/2015

改訂日:9/30/2015

1. 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1 製品識別名

製品名: RED EPOXY KIT(WHITE PART)

製品コード: 12001(W)

CAS番号: 68410-23-1

1.2 物質/混合物の特定使用方法または推奨しない使用方法

関連情報はなし

物質/混合物の用途: 塗装用合成物、表面塗装、塗料

1.3 SDS発行会社詳細

製造者、供給者:

Highside Chemicals Inc.

11114 Reichold Road, Gulfport, MS 39503 USA

電話番号:

+1(228)896-9220

会社名:

株式会社ユニテック

住所:

大阪市西区立売堀3丁目5-12

電話番号:

06-6535-7730 FAX番号: 06-6535-7740

1.4 緊急連絡先:

ChemTel Inc.

+1(800)255-3924, +1(813)248-0585

2. 危険有害性情報

2.1 物質/混合物の分類 (EC)No.1272/2008規制に沿った分類

下記の有害情報はEU規制にのみ準拠し、アメリカのGHS規制には準拠しない: H400、H410



腐食

目の損傷1 H318

目をひどく損傷する可能性がある



環境

水生毒性1 H400

水生生物にとって非常に毒性がある

水生慢性1 H410

水生生物に対して長期継続的に影響する毒性がある



皮膚炎症2 H315

皮膚炎症が起きる可能性がある

皮膚感作1 H317

皮膚にアレルギー反応が起きる可能性がある

追加情報: 他に確認分類されている有害性はない。混合物には、不明の毒性物質は含まれていない。

2.2 ラベル要素

(EC)No.1272/2008規制に準拠し表示

物質は、アメリカ国内の世界調和システム(GHS)に沿って分類、表示されている。

製品は、CLP規制に沿って分類、表示されている。

危険有害性絵表示

下記の絵表示は、ヨーロッパ内のみで使用される: GHS09



GHS05 GHS07 GHS09

注意喚起語: 危険
表示の有害性決定物質: 液体ポリアミド樹脂
危険有害性情報 下記の危険有害性情報は、EU規制にのみ準拠し、アメリカのGHS規制には準拠しない: H410

H315 皮膚炎症が起きる
H319 重篤な目の炎症が起きる
H317 皮膚にアレルギー反応が起きる可能性がある
H410 水生生物に対して長期継続的に影響する毒性がある

注意書き

P101 医師の診断が必要な時は、製品の容器またはラベルを持っていくこと
P102 子どもから遠ざけること
P103 使用前にラベルを読むこと
P261 ほこり、煙、ガス、霧、蒸気、噴霧した吸わないようにすること
P264 使用後は、しっかり手を洗うこと
P280 保護手袋や目を保護するものを着用すること
P305+P351+P338 目に入ったら: 数分間、注意しながら水で洗うこと。コンタクトを付けているなら、コンタクトを外したほうがやりやすい。洗い続けること。
P302+P352 皮膚に触れたら: 十分な水と石鹸で洗うこと
P333+P313 皮膚が炎症したり、発疹が起きたら: 病院に行くこと

NFPA等級(0~4)

 健康性=2
火炎性=1
反応性=0

HMIS等級(0~4)

 健康性=2
火炎性=1
反応性=0

2.3 その他危険有害性

PBTとvPvB評価結果 PBT: 該当せず vPvB: 該当せず

3. 組成/成分情報

3.1 物質 CAS番号詳細 68410-23-1 液体ポリアミド樹脂

4. 応急措置

4.1 応急措置の詳細

一般情報: 本製品により汚れた衣服はすべて直ちに除去すること。
吸い込んだ場合: 新鮮な空気を与えること。症状が出た場合は、医師に相談すること。
皮膚に接触した場合: すぐに水と石鹸で洗い、完全に洗い流すこと。皮膚炎症が続くなら、病院に行くこと。
目に接触した場合: コンタクトレンズを付けていたら取り、目を開けて数分間流水で洗い流す。症状が治まらない場合は、病院に行くこと。
飲み込んだ場合: 口内をすすぎ、水をたくさん飲むこと。吐かないようにすること。すぐに医療要請すること。

4.2 急性・遅延性の重要な症状や影響

アレルギー反応、胃の疾患、腸管疾患、呼吸困難、咳
危険有害性 これ以上の関連情報は無し

4.3 必要な緊急医療処置や特別処置の表示

皮膚や粘膜には、抗ヒスタミン剤やコルチコイド調剤で処置すること
肺に炎症が起きた場合、吸入コルチコステロイド剤で初期治療をすること

飲み込んだ場合は、胃洗浄すること。最低48時間は、医師の観察下にあること。
後に、肺炎と肺水腫の検診を受けること。

5. 火災時の措置

5.1 消火媒体

適切な消火手段: 周囲環境に適した消火方法を使用すること
安全上の理由にもとづく不適切な消火方法: なし

5.2 物質/混合物から生じる特殊な有害危険性

熱された場合や火災になった場合、有毒ガスが発生する可能性がある

5.3 消防士への助言

保護服: 自給式呼吸器保護具を装着すること。全身保護服を着用すること。
追加情報: 関連する追加情報はなし

6. 偶発的放出時の措置

6.1 個人への注意事項、保護設備、緊急時の手順

必ず適切に換気すること
保護服を着用すること。
保護服を着用してない人間を近づけないこと。

6.2 環境に関する注意事項:

本製品が下水、地表水、地下水に進入しないようにすること
本製品が下水道やいかなる水路にも進入しないようにすること
本製品が水路や下水道に漏出した場合は、関連機関に連絡すること

6.3 密閉/掃除の方法と器具:

液体を凝固させる物で吸収する(砂、珪藻岩、酸結合剤、万能結合剤、おがくず)。必ず適切に換気すること

6.4 参照すべき他の項目:

安全な取扱方法については項目7を参照のこと
個人保護具については項目8を参照のこと
廃棄方法については項目13を参照のこと

7. 取扱いおよび保管

7.1 安全に取扱うための注意事項:

作業場を必ず十分に換気/排気すること
エアロゾルが発生しないようにすること

火災と暴露保護に関する情報: 特別な方法は必要無し

7.2 不適合品を含め、安全に保管するための条件

保管:

保管倉庫と容器の条件: 涼しい場所で保管すること
湿気や水から保護すること
非常に熱い物、発火源、直火の近くで保管しないこと

1つの共有保管設備での保管に関する情報: 食品から遠ざけて保管すること
酸化物や酸性物質と一緒に保管しないこと

保管条件に関するその他の情報: しっかりと密閉された容器に入れて、涼しく乾燥した場所で保管すること。十分換気された場所で容器を保管すること。

7.3 特殊な最終用途

関連する情報は無し

8. 暴露管理/保護措置

技術設備設計に関する追加情報: 追加データ無し。項目7を参照のこと。

8.1 管理パラメーター

作業場での監視が必要な制限値がある成分: 本製品は、作業場で監視しなければいけない臨界値のある材質を含んでいない。

DNFLs: これ以上の関連情報は無し

PNECs: これ以上の関連情報は無し

8.2 暴露管理

個人保護服：一般的な保護/衛生方法：食品、飲料、飼料から遠ざけること

汚れたり汚染された衣服はすぐに除去すること

休憩前と作業後は、手を洗うこと

目や皮膚に接触しないようにすること

気体、煙、エアロゾルを吸い込まないこと

呼吸器官保護：

換気が不十分な場合、適切な呼吸器保護具を使用すること

エアロゾルや霧が発生した場合、適切な呼吸器保護具を使用すること

手の保護：



本製品がこぼれた場合、呼吸器保護具の使用を推奨する保護手袋

手袋の材質は、不浸透性で、本製品/物質/調剤に耐久性があるものでなければいけない。

目の保護：



安全メガネ

体保護：

保護作業服

環境に対する暴露限界と暴露管理：

関連情報無し

危機管理方法：

詳細については、項目7を参照すること。
それ以上の関連情報は無し。

9. 物理的および化学的性質

9.1 基本の物理的および化学的性質

概要

外観：

形：液体

色：未定

臭い：特徴的な臭い

臭気限界：不明

pH値：不明

状態変化

融点/融点範囲：不明

沸点/沸点範囲：不明

発火点：> 260°C(>500°F)

可燃性(固体、気体)：非該当

自然/自己発火温度：不明

生成分解温度：不明

自己発火：不明

爆発の危険性：製品には、爆発危険性は無い

爆発下限：不明

爆発上限：不明

蒸気圧：不明

20°C(68°F)での密度：0.97g/cm³ (8.095 lbs/gal)

相対的密度：不明

蒸気密度：不明

蒸発率：不明

水溶解性/水混和性：混和しないまたは混和しにくい

分配係数(n-オクタノール/水)：不明

動粘性係数：不明

9.2 その他情報：

その他の関連情報は無し

10. 安定性および反応性

10.1 反応性

その他の関連情報は無し

10.2 化学的安定性

熱分解/避けるべき条件：仕様に沿って使用し保管すれば分解しない

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は無し

10.4 避けるべき状況

関連情報無し

10.5 不適合材質：

関連情報無し

11. 毒物情報

11.1 有毒な影響に関する情報

急性毒性: 分類のための関連LD/LC50値:無し

一次刺激物の影響:

皮膚腐食/炎症: 皮膚に炎症が起きる可能性がある

重篤な目の損傷/炎症: 重篤な目の損傷を起こす可能性がある

呼吸器感作/皮膚感作: 皮膚にアレルギー反応が起きる可能性がある

反復投与毒性: 反復暴露は皮膚感作および呼吸器感作をもたらす恐れがある

CMR(発癌性、変異原性、生殖毒性)の影響:

生殖細胞変異原性: 入手済みデータにもとづくと、分類基準に一致しない

発癌性: 入手済みデータにもとづくと、分類基準に一致しない

生殖毒性: 入手済みデータにもとづくと、分類基準に一致しない

STOT-単一暴露: 入手済みデータにもとづくと、分類基準に一致しない

STOT-反復暴露: 入手済みデータにもとづくと、分類基準に一致しない

呼吸器官有害危険性: 入手済みデータにもとづくと、分類基準に一致しない

12. 環境影響情報

12.1 毒性 水生毒性: 水生生物に毒性あり

12.2 持続性と劣化性 関連情報無し

12.3 生体内蓄積可能性 関連情報無し

12.4 土壌内移動性 関連情報無し

生体毒性の影響: 特記事項: 魚に対し非常に毒性がある

その他の環境情報: 一般事項: 不希釈の本製品や大量の本製品を地下水や水路、下水道に進入させてはいけない。水中の魚やプランクトンにとって有害である。水生生物に非常に有毒である。

12.5 PBT、vPvB評価結果 PBT: 該当せず

vPvB: 該当せず

12.6 その他の悪影響 関連情報無し

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄方法 推奨 家庭用ごみと一緒に捨ててはいけない。本製品が下水道に流れないようにすること。

不清潔な梱包: 推奨 規制に従って廃棄しなければいけない。

14. 輸送上の注意

14.1 UN番号 DOT, ADR, IATA 規制無し

IMDG UN3082

14.2 UN正式輸送名称 DOT, ADR, IATA 規制無し

IMDG 環境有害危険物質、液体、N.O.S.(液体ポリ
アミド樹脂)、海洋汚染

14.3 輸送危険性等級 DOT, ADR, IATA 等級 規制無し

IMDG 等級 9 種類雑多な危険性物質や製品

表示 9



14.4 梱包グループ DOT, ADR, IATA 規制無し

IMDG III

14.5 環境有害危険性 海洋汚染: シンボル(魚と木)

14.6 使用者に対する特別注意 該当せず

EMS番号: F-A, S-F

14.7 添付IIのMarpolとIBCコードに適合したバルク輸送 該当せず

輸送/追加情報: ADR SP375Iによると規制無し

IMDG

限定量(LQ) 5L

IATA A197特別バージョンでは規制無し

DOT 171.4(2)によると規制無し

15. 適用法令

15.1 物質/混合物に特化した安全、健康、環境規制または法規

アメリカ(USA SARA

355項(極めて有害な物質): 表記されてる成分は無し

313項(特定の毒性薬品一覧): 表記されてる成分は無し

TSCA(毒性物質規制法): 成分が表記されている

65案(カリフォルニア州)

がんの原因とされている薬品:

表記されてる成分は無し

女性に生殖毒性をもたらすとされている薬品:

表記されてる成分は無し

男性に生殖毒性をもたらすとされている薬品:

表記されてる成分は無し

発達毒性をもたらすとされている薬品:

表記されてる成分は無し

発癌性区分

EPA(環境保護庁): 表記されてる成分は無し

IARC(国際がん研究機関): 表記されてる成分は無し

TLV(ACGHが定めた限界値): 表記されてる成分は無し

NIOSH-Ca(職業安全・健康学会): 表記されてる成分は無し

カナダ

カナダ国内物質リスト(DSL): すべての成分が表記されている

カナダ成分公開リスト(限界0.1%) 表記されてる成分は無し

カナダ成分公開リスト(限界1%) 表記されてる成分は無し

212/18/EU指令

危険物質と命名された物-添付I: 表記されてる成分は無し

下段条件200tの用途に対して量(トン)を限定する

上段条件500tの用途に対して量(トン)を限定する

その他の規制、制限や禁止規制

REACH 57条の高懸念物質: 表記されてる成分は無し

15.2 薬品安全評価: 薬品安全評価は実施されていない

16. その他の情報

この文書は、弊社の現在の知識にもとづいているが、どの製品の特別特性を保証するものではなく、また法的実行力を持つ契約関係を築くものでもない。

関連文言 H315 皮膚炎症が起きる

H319 重篤な目の炎症が起きる

H317 皮膚にアレルギー反応が起きる可能性がある

H411 水生生物に対して長期継続的に影響する毒性がある

出典 SDS作成者: Chem Tel Inc. 1305 North Florida Avenue, Tampa, Florida,
USA 33602-2902
TEL: +01 813-248-0573
ウェブサイト: www.chemtelinc.com

注)この化学物質等安全データシートは英語からの翻訳であり、万が一訳し間違い等があった場合は、原文を正しいものとみ無します。